

H26 委員からの主な意見

【児童生徒の心を耕す教育の推進】

- ・主体的に行動し、自ら決定していく子どもの育成
- ・子どもの自治能力の向上(サミットの継承)
- ・誹謗中傷の重大性への認識力向上
- ・実社会で許されない行為の理解の促進

【教職員の資質能力の向上】

- ・徹底した組織的対応
- ・教科道徳への準備
- ・いじめが「見える」ようにするため、アンケートや調査など、多角的にみる必要がある
- ・徹底した事例研究
- ・ネットに詳しい外部専門家の学校への協力

【学校・家庭・地域・関係機関が連携した取組の促進】

- ・家庭や地域での教育の充実
- ・自然に連れ出す「体験活動」が重要
- ・ネットいじめ等に関する保護者の理解促進
- ・心が満たされていない家庭への支援
- ・学校やスクールカウンセラー、民生委員、医療機関との連携強化

【相談体制の整備・充実】

- ・スクールカウンセラー等による総合的な心のケア
- ・就学前の子どもたちの課題解決
- ・相談事案に対する総合的なアセスメント、コーディネート

ネット問題に関する県内事例

ネットいじめに関するもの

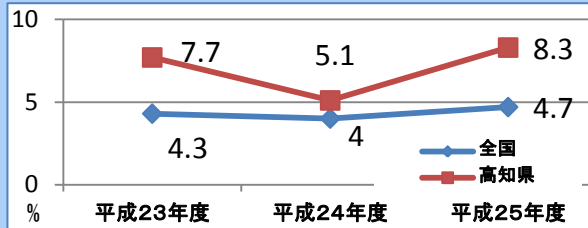
事例1(省略)

ネット上の誹謗中傷の例

事例2(省略)

学校の課題

いじめの認知件数に占めるパソコンや携帯電話等によるいじめの割合(経年変化)



※参照:児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査

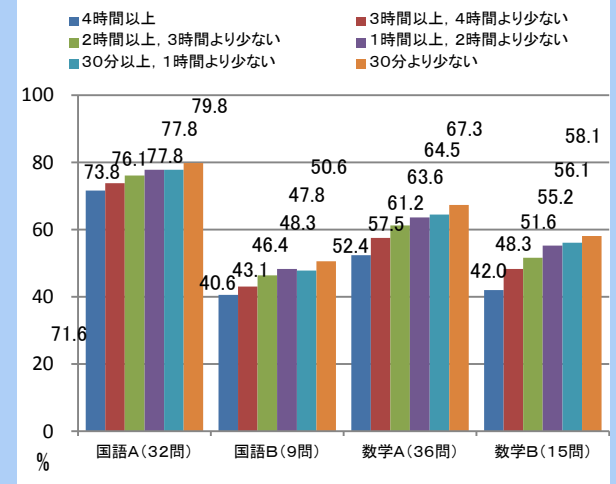
いじめ防止対策推進法施行後の状況に関する調査に対する学校の回答(高知県内公立学校ネット関係)

- ・インターネット上のいじめについては見えにくいので、**実態把握、早期発見・早期対応が困難**であり、問題が大きくなってから把握し、ケースに対応せざるをえない。
- ・インターネット上のいじめについての**教員の指導力や対応力の向上**が不可欠である。
- ・会員制のSNSの場合、投稿や指導後の削除処理など、**学校サイドでは確認が困難**である。
- ・インターネットの利用による**生活リズムの乱れ**がある。(長時間の使用による学力低下、依存的状況)

H26 学校ネットパトロール検索結果(高知県) 総件数4,113件

投稿内容の分類	件数
いじめ・誹謗中傷・人権問題	90
個人情報の流出	3,947
不良行為・不適切行為	44
犯罪・違法行為	5
自殺企図	27

県内中学生の携帯電話、スマートフォンでメール、インターネット等をする時間と平均正答率との相関関係



※参照:平成26年度全国学力・学習状況調査